

育保の月五

及川ふみ

五月の保育案を作成するに當つて、先づ四月中においての生活訓練の實際の狀況について反省をして見たい。朝歸りの挨拶、用具の出し入れ、食前に手を洗ふ事、兵隊さんへの感謝の言葉、食後の齒ブラシの使用の様子、お辨當用具の後始末、上靴のはきかへ、遊び道具の後始末なきの實行の様子を省みて、まだ不十分なところは五月に入つてもつゞけて早く習慣をつけたいものである。

又新保育期に入つていつもながら新入幼児の取扱ひ上痛切に感じる事は、幼稚園に早くなれさせるには、年長組との接觸を多くする事である。お遊戯一つするにしても、年長組の遊戯を見たり、或は年長組と入り交つてする時には餘程早く遊戯も覺える事であらうし、やり方も自

然で、新しい幼児たちが樂な氣持で遊戯が出来る様に見受けられる。又庭での自由遊びなごも、砂場で年長組の人たちが山を作り墜道をつくつて、積木の汽車を走らせて、樂しさうに遊んでゐるのを眺めてゐるご、いつごもなく新らしい幼児も入つて遊んでしまふ。ブランコ、スベリ臺、おまごご、遊びなごも皆砂場同様である。こんなごころが小學校なごごちがつて幼稚園は園兒數が、相當多く集つてゐても、やり方で家族的にやつてゆけるよい長所がある。隣の組同志、年長組と年少組、お互に助け合つてゆくに幼児たちの間も、保姆お互の間にも美しい交流があるわけである。

さて五月の保育の實際案について

第一週 五月一日—四日

水 この日五月幟を庭にたてる。

唱 歌 鯉のぼり

紙仕事 鯉のぼり

模造紙、或は畫用紙に緋鯉、眞鯉を謄寫して鯉の形をまじり、繪具或はクレヨンにて色を塗る、形をきり取らせる。

木

お話 金太郎

紙仕事 前日作つた鯉の上につける吹き流しを作る、畫

用紙を圓くして、その周圍に模造紙の五色を適當の長さにはる。

鯉ミ吹き流しは幼児たちが作り、ヒゴの先につける風車、其他のミところは保母が手傳つて四日まで出來上らせる。

金

遊戯 鯉のぼり

粘土 柏餅、お柏の葉が手近に用意出來れば包む。

觀察 朝顔の種マキ

土

五月節句

全園の幼児が集つて飾られた五月人形の前で遊ぶ。各組の幼児たちが唱歌、遊戯お話なごする。この日出來れば各自お辨當をもち寄つて會食をするごよい。お食後に幼稚園からお菓子をお菓子らしい。

この週天候の都合よき日に藤の花見かたがた花の下でお食事をする。又保育室に金魚鉢に金魚を入れて隨時幼児の觀察の材料とする。

第二週 五月六日—十一日

八十八夜もこの週であるから、幼児一人一人に一鉢づゝ種まきをさせる。

月

唱歌 ぎつこんばつたん
紙仕事 畫用紙のコマ作り

圓形を型つて一人に二個づゝつくらせる。保母の作つた美しいコマを見せて、模様をかき、或は塗りわけにする。圓の周圍を切りおささせて、ヒゴをさして廻る様にする。これからしばらくの間つゞけておもちやを作りおもちや屋遊びをする計畫の下に各自に家庭へはもち歸らせな

火

自由畫 クレヨンにて
遊戯 ぎつこんばつたん

水

ラヂオ 童話をきく
メリエ チューリップ

木

お話 大きな球の話
自由畫 大きな球の話のぎの部分でもよいからかゝせる。

金

唱歌 ヒヨコ

粘土 自由製作

土

遊戯 ヒョコ

この週のうち雨の日等の屋内にて遊びの多い時に幼児の姓名をかゝせて見る。入園後一ヶ月近くなり、靴箱、帽子掛、道具引出など数々各自の姓名が書かれてあるので何さなしに覺えた事であらう。さの位書ける事かわからないうが幼稚園の生活には實際に必要な事であるから書けないものには最初は名だけ書かせる。これは文字を書かせて覺えさせるのではなく、幼児自身の姓名を覺えさせるのである。尙文字をかゝせる爲に自由畫帳の外に、簡単な雜記帳を用意しておくよ。

月

第三週 五月十三日—十八日まで

お 話 日曜日の話あひ、幼児ミ保姆

紙仕事 てんたう蟲車作り

てんたう蟲を磨寫したものを用ひる、色をぬり、切り取つて組立は保姆がする。

唱歌 サ、ブネ

粘土 お舟づくり

水

ヌリエ キシヤ

遊戯 サ、ブネ

木

ラヂオ 童話をきく

自由畫

金

唱歌 サ、ブネ

紙仕事 かたつむり 作り方はてんたう蟲と同じ

土

遊戯 さぶね

この週に種まきをしてあるから幼児たちに時々水やりをさせる事を忘れない様にする。

第四週 五月二十日—二十五日

月

唱歌 水鐵砲

遊戯 水鐵砲

火

紙仕事 軍艦づくり

水

お 話 浦島太郎

粘土 軍艦づくり 日の丸の小旗をつくつて軍艦に立てる。

木

メリエ キンギョ

紙仕事 軍艦つくりのつよき

金

紙仕事 古端書で簡単な軍艦をつくる

二十七日の海軍記念日までに今まで作った各種の軍艦を
保育室に飾っておく。

土

遊戯 兄弟雀

この週に、なす、トマト、へちま、きゅうりの苗を園庭に
植ゑつけて幼児と一緒に栽培する事にする。又バラ、菊
につくアブラ蟲なごをよく見せて知らせる。

第五週 五月二十七日—三十一日まで

月

お話 日本海の大海戦(東郷大将)

レコードで軍艦マーチや、年長組の人たちに廣瀬中佐の
唱歌なごをきかせてもらふ。

遊戯

火

唱歌 波よこい〜

紙仕事 動物の切りぬき

十種類の動物をきりぬいて動物ブックを作る。

水

ラヂオ 童話をきく

粘土 自由製作

木

お話 三匹の小豚

自由畫 三匹の小豚の畫をかく

金

唱歌 お猿のこども

粘土 自由製作

土

紙仕事 動物の切りぬきつよき

五月は暑からず寒からず幼児たちの遊びを充分にさせら
れるうれしい時である。草木の花、葉も次ぎ〜にのび、
毛蟲、蝶、蟻、なごの幼児たちの遊び相手も豊富になつて
きて、保育時間の短きをかこつ様に思はれる。遠足によ
し、園外保育によいこの月は雨の日、風の強き日の外は、
強い太陽を充分に浴びて幼児の健康の増進を唯一の目標と
して保育案を作るべきであらう。